

公表：2023年3月31日

事業所名：ブティ倶楽部 南与野

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1人あたり三平米以上のスペースが確保できており基準は満たしています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			児童の人員に対して、適切な数の児童指導員を配置しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入り口やトイレに段差があるため、必要に応じて職員が介入し、安全に考慮しています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎朝のミーティングで振り返りや、その日の活動の狙いなどを決め、業務の改善に努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			頂いた評価表を職員間で共有し、業務改善に繋げています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会社のホームページにて公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていませんが、今後必要性に応じて検討していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1度の職員会議の際に研修を取り入れ職員の資質向上を目指しています。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様との面談を通じて知りえたニーズや課題を基に、サービス計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全児童共通のアセスメントシートを使用しています。標準化されたアセスメントツールの導入を検討しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議やミーティングの際に、取り入れたい活動や外出先などを意見を出し合っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員間でアイデアを出し合い、子どもたちが楽しむことが出来るよう努めています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇等に合わせてスケジュールを組んでいます。その日の活動時間に合わせた課題を設定し、支援しています。
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本的には小集団での活動が多いのですが、計画には集団での活動や個別活動を適宜組み合わせています。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティングを行い、支援の内容や役割分担について職員間で確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			その日にあったことを適宜話し合い、翌朝のミーティングで振り返りを行い、気づいた点等を職員間で共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後に業務日報、ケア記録などを入力し、日々の支援の質向上に繋げています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援計画書更新の際にモニタリングを行い、職員間で見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインにある内容を組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	今年度はサービス担当者会議への参加が無かったため、今後参加する際は、管理者や児童発達支援管理責任者が参画します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校からお便りを頂いたり、送迎時に下校時間や行事予定について情報の共有を行い、必要に応じ電話にて連絡を取っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童は利用されてませんが、今後必要となれば体制を整えていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今年度は情報共有をする機会がありませんでしたが、今後必要に応じ情報共有ができる機会を増やしていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在該当する児童がいないため、今後必要となった際は情報を提供していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現状、研修等は行っておりませんが、必要に応じて連携を図っていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍だったため、交流して活動をおこなっていませんでしたが、今後他事業所さんや児童館と連携を取り、交流する機会を設けていきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			区開催の会議へ参加し、会議の内容、情報は職員間で共有しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際や、日々の連絡帳にてお子様の様子や情報を共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	送迎の際や、面談時、電話等にて相談、助言等させて頂いておりますが、さらにきめ細かなサポートになるよう努めていきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に運営規定、支援の内容、利用者負担等について、丁寧に説明させて頂いております。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育てに対するお悩み等があれば、柔軟に対応させて頂いております。もっと気軽に相談して頂けるような環境を整えていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度開催予定でしたが、インフルエンザの流行により延期となりました。5月から再開予定です。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に苦情担当窓口の説明をしています。苦情があった場合には迅速に対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、お便りを発行し活動概要や行事予定、研修内容等を発信しています。他、SNSでの情報発信やシステムでのブログ発信を携帯で閲覧できるようにしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		入退社時、また毎年、個人情報の取り扱いについての研修を行っています。日頃から十分に注意し取り扱っています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉だけではなく、ジェスチャーや絵カードを用いて、情報伝達に配慮しています。保護者とは、送迎時や必要時に連絡を取り合い、システムの連絡帳で意思の疎通を取るよう心がけています。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍だったため、交流はありませんでしたが、今後必要に応じて機会を設けていきます。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定し、事業所で閲覧できるようになっています。また保護者様へはお便りやインターネット上の活動記録にて周知しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回以上避難訓練を行っています。都度振り返りを行い、防災に対する意識を高めています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回以上虐待防止研修を行い、実際に虐待になりそうな事案を職員間で出し合い、虐待を未然に防げるよう務めています。他、年に一度、虐待防止委員会・身体拘束適性化検討委員会を開催し、各事業所の具体的な事例を共有し合い、防止策や改善方法を検討しております。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束についての研修を行っております。法人として、身体拘束に関する指針を作成し事務所に掲示しています。現在身体拘束を行うことは想定していないため、計画書には記載していません。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時や面談の際に、保護者様にアレルギーの有無を確認しています。現在、医師の指示書が必要である児童はおりません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットノートを作成し、情報を共有し、今後の対策について話し合いし改善案を立てています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。